道路事業

事業の概要

帯広開発建設部では、十勝管内における高規格道路や国道8路線の整備、維持・管理を行っています。

第9期北海道総合開発計画（令和6年3月12日閣議決定）を踏まえ、「北海道の価値を生み出す生産空間の維持・発展と多様で豊かな地域社会の形成」「観光立国を先導する世界トップクラスの観光地域づくり」「安全・安心に住み続けられる強靭な国土づくり」等を推進するとともに、国内の食料供給基地として重要な役割を担うほか、北海道らしい雄大な風景を誇る十勝地域において、「食」や「観光」に関連する分野での成長と競争力を一層強化し、地域社会に活力をもたらす「生産空間」「基礎圏域」の保持・形成を図るための基盤整備、施策を推進します。

北海道型地域構造を支え、世界を見据えた人流・物流ネットワークの形成

●高規格道路ネットワークの整備

広域分散型社会を形成している北海道において、食・観光等の基幹産業を支えるとともに、国土の強靱性を確保し、地域間の連携強化を図るため、高規格道路ネットワークの整備を推進します。

一般国道236号　大樹広尾道路（忠類大樹～豊似）の整備

激甚化・多様化する災害への対応と安全・安心な社会基盤の形成

●災害からの迅速な復旧を支える道路交通ネットワークの強靭化

地震・津波による被害や社会的影響を最小限に抑えるため、代替性確保のための高規格道路の整備や緊急輸送道路上の橋梁の耐震補強、道路斜面や盛土等の防災対策を推進します。

また、気象変動に伴い激甚化・頻発化する気象災害や、切迫化する千島海溝・日本海溝周辺海溝型の大規模地震から地域社会を守り、重要な機能を維持するため、防災・減災・老朽化対策を含む国土強靱化の取組を切れ目なく推進します。

●防災、通行の安全、景観の向上に資する無電柱化の推進

道路の防災性の向上、安全で快適な歩行空間の確保、良好な景観の形成や観光振興の観点から実施している電柱の新設抑制及び無電柱化についてスピードアップを図ります。

●社会経済活動を支える道路施設のインフラ老朽化対策

道路施設が有する機能を長期にわたって適切に確保するため、各施設に応じた点検及び計画的・効率的な維持管理を図り、最適な老朽化対策を推進します。また、ドローン等新技術の活用による点検の高度化・効率化により戦略的なインフラ老朽化対策を推進します。

●冬期交通の確保

冬期の安全・安心を確保するため、冬期災害に備え、代替性確保のための高規格道路の整備、国道における防雪対策、近年多発する大雪・暴風雪時の情報発信の強化等を図ります。

●安全・安心な移動環境の確保

事故危険区間での事故データを用いた分析やビックデータを活用した潜在的危険区間の分析により、事故の危険性が高い区間を抽出して重点的な対策を実施する「事故ゼロプラン」を推進します。また、生活道路における速度抑制や通過交通の進入抑制を図る面的対策の検討において、ETC2.0プローブデータを活用した分析により自治体を支援し、安全・安心な道路空間の整備を推進します。

国道241号　音更大通（交通安全対策・無電柱化）

観光立国を先導する世界トップクラスの観光地域づくり

●「シーニックバイウェイ北海道」の推進

魅力ある道路景観を地域の重要な観光資源の一つとして確立するため、特に魅力的な区間について景観の維持・形成、情報発信を重点的に推進するシーニックバイウェイ「秀逸な道」の取組を引き続き推進し、地域との協働を通じて生産空間のコミュニティ維持を推進します。

●サイクルツーリズムの推進「トカプチ400」

世界水準のサイクルツーリズム環境の実現に向けて、安全で快適な自転車走行環境の改善やサイクリストの受入環境の充実、情報発信の取組を推進します。
（令和3年5月に日本を代表するナショナルサイクルルートに「トカプチ400」が指定）

「トカプチ400」（ナショナルサイクルルート）の走行環境整備

多様で豊かな地域社会の形成

●「生産空間」の維持・発展に資する「道の駅」の機能強化

地方部の「生産空間」を支える都市機能・生活機能の維持・確保を図るため、日常的な生活サービス機能を「道の駅」に集約するなど、地域の拠点づくりを支援していきます。「道の駅」の交通結節点化など、地域の拠点化に向けた多様な取組を推進していきます。

授乳室の整備　道の駅「なかさつない」

◆令和8年度　道路事業の概要

●広域分散型社会を支える高規格道路ネットワークの整備	
路線・地区名	主要事業
E61 北海道横断自動車道	足寄～北見
E60 国道236号	大樹広尾道路（忠類大樹～豊似） 大樹広尾道路（豊似～広尾）
●道路施設の老朽化対策	
国道38号	鎖橋架替
国道38号ほか	橋梁補修、トンネル補修ほか
●防災対策・震災対策	
国道236号	野塚防災
E60 国道236号ほか	橋梁耐震補強ほか
●交通安全対策	
国道38号	本通11丁目交差点改良 （令和8年度新規事業化） 豊頃旭町交差点改良 （令和8年度新規事業化）
国道241号	士幌路肩改良 音更大通6丁目交差点改良 （電線共同溝含む） 音更大通8丁目交差点改良 （電線共同溝含む）
国道336号	共栄路肩改良
●冬期交通の確保	
国道241号	中士幌防雪対策

SNSを通じた道路情報提供

道路情報Webページ

道路の異常を発見したら…　24時間受付中　道路緊急ダイヤル #9910（全国共通番号）

●通行止め区間の路線名、場所、日時、原因などをお知らせします。
●通行止めの実施時と解除時にメールを配信します。

通行止情報メール配信サービス
https://www.road-info-prvs.mlit.go.jp/announce/as/

2050年、WISENET（ワイズネット）の実現に向けた取組

WISENET2050の実現に向けて、時間的・空間的に偏在する交通需要や渋滞に対して、データを活用したパフォーマンス・マネジメントにより、効率的・効果的なボトルネック対策を実施し、道路ネットワーク全体のサービス向上を目指します。管内の高規格道路や国道を対象に、ラウンドアバウトや2+1車線の導入などの適用可能性等について、検討を進めていきます。

WISENET（ワイズネット）2050・政策集について

北海道共創ネットワークについて